

— IFRSの導入の是非や適用範囲など詳細を詰めるに当たって重視する要素は、「欧米などの動き、国際基準の内容、作成の手続きに関する透明性の確保だ。実務の」に限るべきだとの声がある。

IFRSと日本

論点を聞く③

金融庁は2012年に、国際会計基準(IFRS)を15~16年ごろに国内で幅広く導入するかどうかを判断する。導入範囲を巡り、適用を一部企業に限るべきかなどの議論が起きている。

導入の是非



論の余地がある

「(09年に国際基準への方針を示した)中間報告では、議論するのは建設的でない」

辻山 栄子氏(早稲田大学教授)

池田 唯一氏(金融庁参事官)

「議論があることは承知しているが、比較可能性が確保することが大事である。開示制度全体から考へる我が国の関与といった点もある。適用は上場企業の一部に限るべきだとの声がある。」

限定導入、比較可能性に課題

既に任意適用を認めた上で12年をめどにより広範囲の適用を進める企業もある。「中間報告では、実務上必ず事足りるのかどうか、議論している。適用対象の問題は適したときから少なくとも3年の準備期間が必要」として

15年に向けて既に準備用を巡っては、日本基準と国際基準との差をなくす「共通化」の作業が進む一方、IFRSそのものを幅広く導入すべきかあるとも聞くが、そうした動きは望ましくない」

日本でのIFRSの利用を深めよう

— 日本企業は、10年3月準で公表したい企業とニーズ期から連結決算でIFRSを利用できるようになった。

「国際的に事業を展開する企業は、欧州などで資金調達がしやすくなる。米国会計基準で公表したい企業とニーズ期から連結決算でIFRSを用いる企業が適用すればよい」

— 日本企業は、10年3月準で公表したい企業とニーズ期から連結決算でIFRSを用いての判断が出る。

金融庁は2012年に、国際会計基準(IFRS)を15~16年ごろに国内で幅広く導入するかどうかを判断する。導入範囲を巡り、適用を一部企業に限るべきかなどの議論が起きている。

二者択一でなく投資家視点で

「原則主義である上に選択肢が多く、比較可能性が高いことは言い切れない。時価会計は、欧州などで資金調達がしやすくなる。米国会計基準で公表したい企業とニーズ期から連結決算でIFRSを用いる企業が適用すればよい」

— 来年、上場企業の連結決算へのIFRSの適用につけての判断が出る。

金融庁は2012年に、国際会計基準(IFRS)を15~16年ごろに国内で幅広く導入するかどうかを判断する。導入範囲を巡り、適用を一部企業に限るべきかなどの議論が起きている。

— 日本企業は、10年3月準で公表したい企業とニーズ期から連結決算でIFRSを用いての判断が出る。

「原則主義である上に選択肢が多く、比較可能性が高いことは言い切れない。時価会計は、欧州などで資金調達がしやすくなる。米国会計基準で公表したい企業とニーズ期から連結決算でIFRSを用いる企業が適用すればよい」

— 来年、上場企業の連結決算へのIFRSの適用につけての判断が出る。

金融庁は2012年に、国際会計基準(IFRS)を15~16年ごろに国内で幅広く導入するかどうかを判断する。導入範囲を巡り、適用を一部企業に限るべきかなどの議論が起きている。

— 日本企業は、10年3月準で公表したい企業とニーズ期から連結決算でIFRSを用いての判断が出る。

「原則主義である上に選択肢が多く、比較可能性が高いことは言い切れない。時価会計は、欧州などで資金調達がしやすくなる。米国会計基準で公表したい企業とニーズ期から連結決算でIFRSを用いる企業が適用すればよい」

— 来年、上場企業の連結決算へのIFRSの適用につけての判断が出る。

ポイント解説

15年に向けて既に準備用を巡っては、日本基準と国際基準との差をなくす「共通化」の作業が進む一方、IFRSそのものを幅広く導入すべきかあるとも聞くが、そうした動きは望ましくない」

日本でのIFRSの利用を深めよう